教職員の安全運転の徹底！

岡山県では昨年を上回るペースで交通死亡事故が発生しています。
管内でも、教職員の交通事故が増加傾向にあります。
梅雨の時季を迎え路面状況や視界が悪くなることを踏まえ、今後一度、自分自身の運転を見直してみましょう。

平成24年6月5日付け　山陽新聞掲載記事

交通事故死50人、昨年より20日早く

県警が緊急対策

…警は4日、交通死故の多発に伴い、の事故死者が昨年20日早い1日に50達したとして緊急

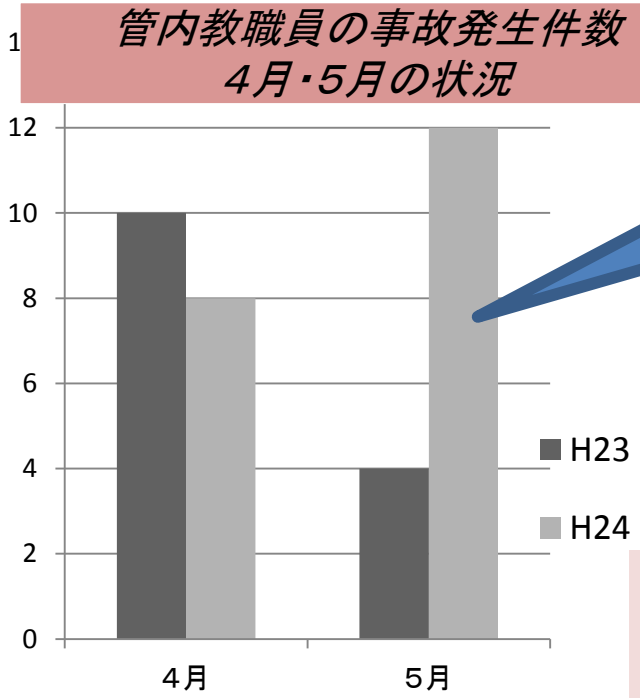
対策に乗り出すと発表した。街頭啓発や速度違反の取り締まりなどで、安全運転の徹底を図る。

県警によると、倉敷市の国道交差点で1日夜、オートバイ男性(21)が乗用車と衝突して死亡し、今年の死者が50人となった。年間の死者数が106人だった昨年より20日早く、過去5年間でも最速。特に5月28日～今月1日の5日間で死亡事故が5件相次ぎ、21～79歳の男女5人が命を落とした。

緊急対策は、夕方の事故多発時間帯にバ…

カーや白バイが赤色灯を点灯させながら走行して注意喚起し、速度違反などの取り締まりを強化。事業所の協力を得て法定速度以下で走る大型トラックやバスを増やし、後続車の速度を抑える「ペースメーカー車」作戦の拡充にも当たる。

県警は今年の死者数を「95人以下」にしたい考えだが、「達成は厳しい状況。スピードの出し…『自…



5月
8件増加

傾向

- 昨年度累計より**6件増加**。特に、**5月は8件**増加。
- 自損、接触等、軽微な事故が多い。
- **一時停止違反、前方不注意、脇見運転**が主な事故原因。

とおり慣れたいつもの道でも、不注意やあせり、疲れなど、心身の状態で危険な道となります。
一旦停止、左右後方確認など、安全運転に心がけましょう。

一瞬の油断が　大事故につながります！